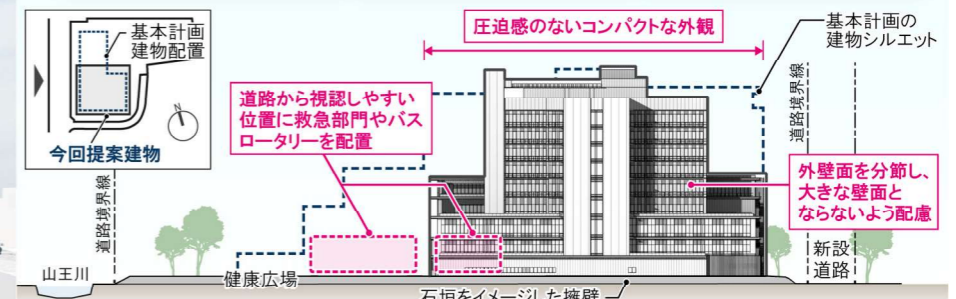


「新病院の理想のかたち」を追求し、ベストな体制とプロセスにより実現します

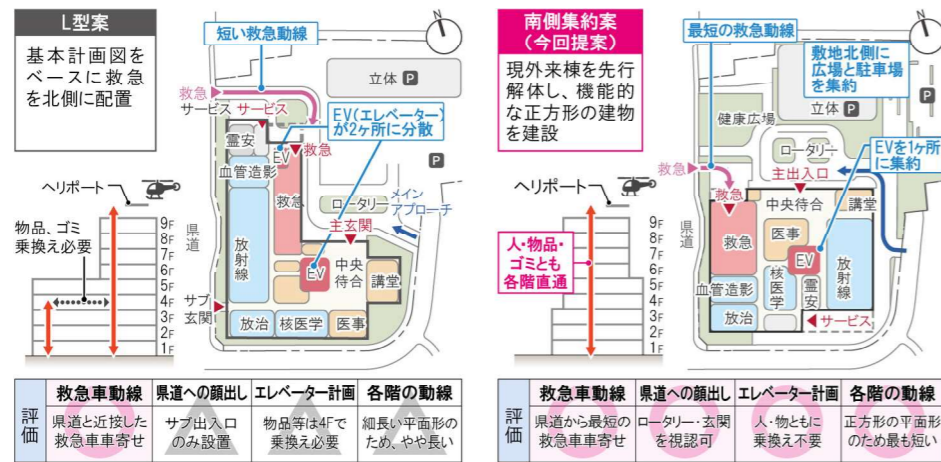


「新病院の理想のかたち」を実現する計画の6つのポイント



市民に愛される「新しい景観」となる外観

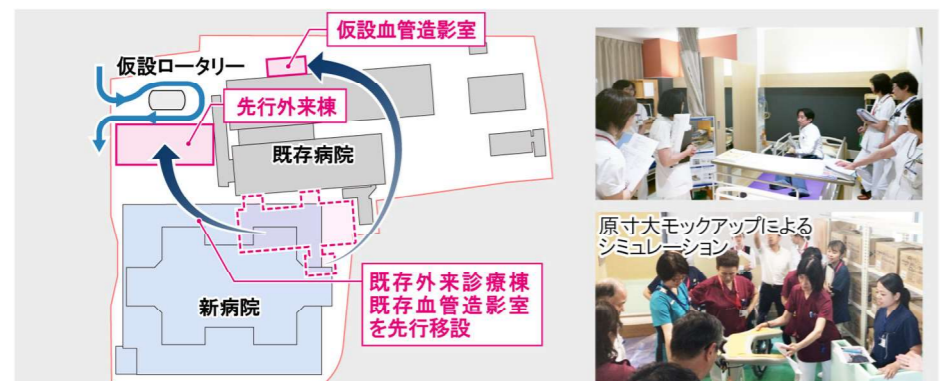
様々な建替パターンの中から理想のかたちを追求しました



様々な建て替えパターンの検証

先行外来棟をシミュレーションの場として活用します

・設計施工一括発注のメリットを活かし、設計段階から原寸大モックアップ等によりシミュレーションを実施し、納得感のある合意形成を徹底



先行外来棟設置による「新病院の理想のかたち」の確認

地域景観・環境、安全性、機動力に配慮した建物配置と外構計画を行います

1 県道側への正面性
 ・敷地北側に広場と駐車場を集約配置し、東西方向に開放性を確保
 ・新病院の正面性を高め、県道側の景観形成に寄与

2 聰いスペース「健康広場」
 ・健康遊具を設置し、市民の健康増進やイベント開催が可能
 ・災害時には、災害対応スペースとしての設備をあらかじめ設置



健康遊具

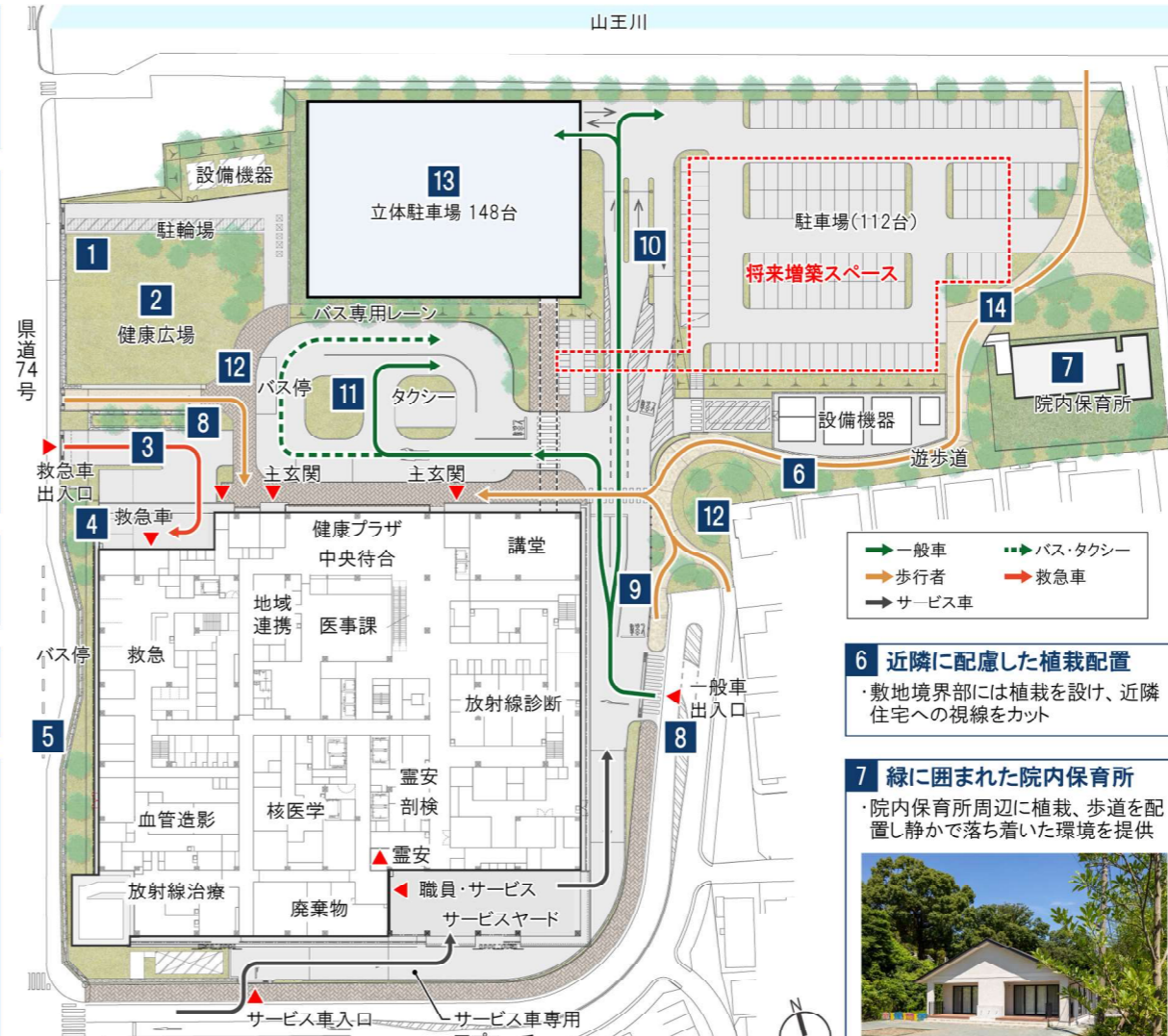
3 県道から最短の救急車動線
 ・救急車専用車路により県道側から最短距離で救急部門にアプローチ

4 ゆったりした救急車寄せ
 ・複数台数の救急車受入可能な広さの屋根付き救急車寄せ

5 景観向上に寄与する外構計画
 ・敷地境界には小田原城をイメージした石垣と植栽を配置



小田原城をイメージした石垣



8 各車両アプローチルートの分離
 ・一般・救急・サービス車両それぞれ単独のアプローチを確保し、車両の交錯を防止し安全性を確保

9 渋滞を防止する車両レーン分離
 ・直接駐車場に入る車両とロータリーに入る車両のレーンを分離し、敷地内の渋滞を防止

10 渋滞を防止する滞留レーン
 ・駐車場出入の渋滞を緩和する駐車場滞留レーンを十分に確保

11 ダブルロータリーによる渋滞緩和
 ・一般車とバス・タクシーのロータリーを分離し、渋滞を緩和

12 歩行者の安全を確保した歩道
 ・車道と分離した歩道の確保を徹底

13 近隣に配慮した立駐配置
 ・南側住宅地への影響に配慮し、敷地北側に立体駐車場を配置
 ・庇や渡り廊下を通じて、雨にぬれず病院へアプローチが可能

14 敷地の南北、東西をつなぐ遊歩道
 ・通り抜け可能な緑豊かな遊歩道



緑豊かな遊歩道

効率的で機動力の高い「高度急性期医療拠点」を実現します

1F 救急・放射線・医事・地域連携

救急部門を中心とした各部門とエレベータ配置



- 1 平日、時間外共に同じ出入口からアクセス可能
- 2 中央待合内に配置した健康情報拠点「健康プラザ」
- 3 市民開放も想定し、中央待合に面して講堂を配置
- 4 救急部門から血管造影部門に直接患者搬送可能
- 5 プライバシーに配慮し、寝台車専用車寄せを設置

2F 外来・検査・カフェ・コンビニ

外来患者が最短距離で移動できる外来ループ動線



- 1 外来ループに面してわかりやすく各科受付を配置
- 2 外来待ち時間にも利用できる眺望のよいカフェ
- 3 患者搬送EVIに近い位置に検査部門を配置
- 4 プライバシーへの配慮が必要な部門は端部に配置
- 5 病棟からの利用も考慮しEVI横にコンビニを配置

3F 手術・病棟（救急・集中治療）

術後患者の安全な搬送、重症患者の治療に適した環境



- 1 搬送EVIに隣接して手術部門前室を設置
- 2 救急から救急病棟へ専用EVIによる迅速な搬送
- 3 手術部とICUを隣接させ、術後患者を安全に搬送
- 4 手術室の将来増設余地を確保
- 5 各集中治療部門と救急病棟が連携容易な隣接配置

5F 管理部門・一般病棟

管理関係諸室を集約し、スタッフアメニティも充実



- 1 EVホールから病棟、管理部門への来客動線を分離
- 2 管理部門の中心に配置した「スタッフ commons」
- 3 スタッフ commonsに面してテラスを配置
- 4 厨房とスタッフ commonsパントリーをリフトで直結
- 5 通過動線がなく静かな位置に幹部諸室を配置

7-9F 一般病棟

安心の療養環境とスタッフの負担軽減、感染対策を兼ね備えたシンプルかつフレキシブルな病棟プラン



- 1 SSから全ての病室を見通せる病棟計画
- 2 2病棟のSSをつなぎ連携を強化する「SSリンク」
- 3 2病棟の共用施設を2病棟間に集約配置
- 4 SSIに隣接した観察しやすい配置の重症個室
- 5 搬送用EVIに近接して配置した陰圧個室
- 6 1階救急部門から専用EVIによる患者搬送動線
- 7 スタッフピット:機能的な物品、作業の分散拠点
- 8 小田原城を望む位置に配置した「スタッフラウンジ」

落ち着いて療養できるやすらぎの空間を提供します



市民の健康を守るシンボルとなる中央待合に併設した「健康プラザ」



小田原をイメージした内観デザイン



快適でわかりやすい2階外来待合

職員アメニティの確保と業務の効率化を目指します

効率的でスタッフが働きやすい環境を提供します

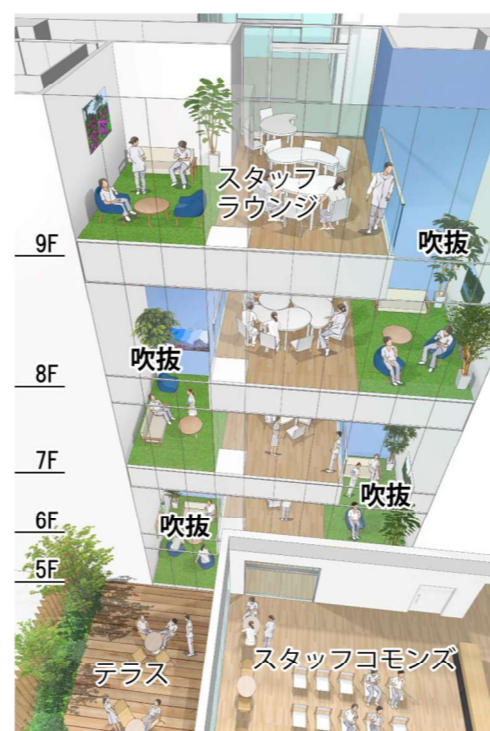
- ・移動距離最短化による業務改善
- ・快適で良好な執務環境づくり
- ・小休憩スペースを分散配置
- ・スキルアップセンターの提案
- ・女性の働きやすい環境づくり

病棟間連携の軸となる『スタッフラウンジ』

- ・病棟スタッフエリアの中心に、業務の合間に一息つける小田原城を望む『スタッフラウンジ』を設置

多職種間の交流を活性化させる『スタッフ commons』

- ・多目的利用を想定し、グループ討論、図書閲覧、自習などの自発的活動を促進
- ・リフレッシュ空間としても設え、スタッフ食堂としての利用も想定



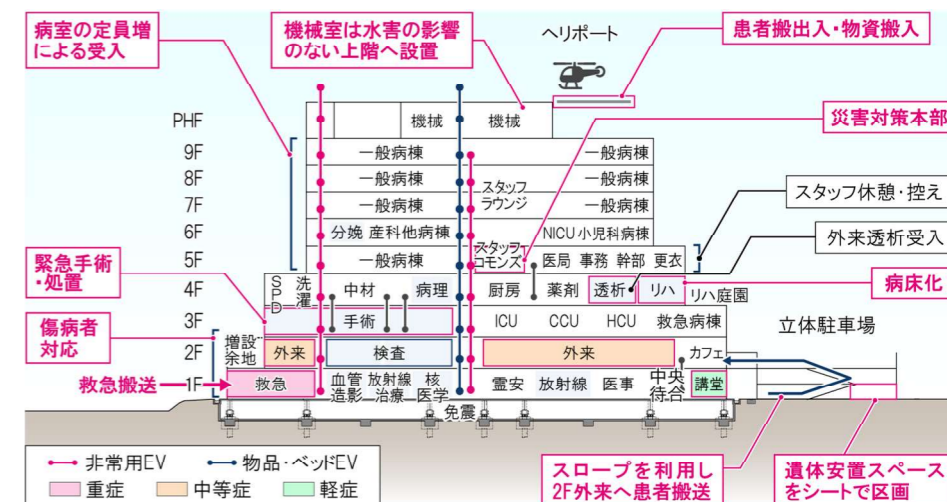
病棟中央に配置したスタッフラウンジ



医療スタッフ間のコミュニケーションを誘発する『スタッフ commons』

市民の「安全・安心の拠り所」となる病院とします

大規模災害時にも平常時と同様の機能を発揮



感染対策を徹底した施設計画を行います

